

編集 環境パートナーシップちば
代表 加藤賢三
事務局 千葉市中央区中央港1-11-1
(財)千葉県環境財団 業務部
環境活動支援チーム
電話 043-246-2180
FAX 043-246-6969



平成22年度（第14回）定期総会を開催

平成5月4日(土)午後1時から、千葉市の「きぼーる」において横山清美氏の司会で、主催者として加藤賢三代表の挨拶に次いで、来賓として千葉県環境生活部環境政策課 名川哲哉氏、(財)千葉県環境財団業務管理グループ 山口幸一氏から挨拶をいただき、会員15名の出席を得て開催されました。なお、当会の現在の会員数は、個人会員100名と団体会員30団体です。

第一部 総会

議長に吉田陞、書記に牧内弘明の両氏を選出し、担当者から平成21年度事業報告、会計報告、会計監査報告が行われ承認されました。次いで平成22年度事業計画、予算、規約改正、役員改選、等の順に審議され、すべて承認されました。

各項目の要点は以下のとおりです。

事業報告：21年度では従来からの継続事業に、県とNPOの協働事業による「環境学習コーディネーター人材育成・活用検討事業」が加わりました。この事業によってELCo (Environmental Learning Coordinator) の制度が創設され、併せて「環境学習コーディネーターネットワークの会」が発足し、当会はその事務局としてこの普及に携わることになりました。

会計報告：会費収入88千円、各種事業収入2,711千円、前年度からの繰越金66千円等による収入3,178千円で事業を行い、566千円を次年度に繰り越しました。

事業計画：当会の役割は時代とともに変化しています。発足時の規約(平成9年6月)では、各条項の主語は「パートナーシップ」であることから明らかなように、連帯している団体のパートナーシップ組織が当会でした。しかし、その後、団体の自立性が高まるにつれこの連帯意識が薄まりつつあるのが現状と言えましょう。

このような状況を踏まえ、今年度は事業の柱を次の三つとし、②、③は従来事業を踏襲し、当会の自立性を高めるために、①により傾注することにしました。

- ① 個人会員へ向けた当会主催による活動；当会主催による環境保全及び環境教育の実践並びにアドバイザー活動

- ② 団体会員へ向けたネットワーク活動；団体間のネットワーク促進に向け、団体間の交流及びパートナーシップ事業への参加
- ③ 情報の収集・提供・交換活動；上記の活動を支える情報の収集・提供及びそれらの交換、更に、①の内、次の三つを積極的に行うことにしました。

- イ. 「環境学習コーディネーターネットワークの会」への取り組み
- ロ. 年間計画に基づくエコサロンの実施
- ハ. 会員の参加拡大と交流を進めるために運営委員会も兼ねた定例会を発足させる

予算：会費収入130千円、各種事業収入1,812千円、前年度からの繰越金566千円等による収入2,508千円で事業を行い、次年度への繰越金をゼロとするが、代わりに予備費536千円を計上しました。

規約改正：事業計画の項で示しましたように、規約と現状との乖離を是正するため、各条項の主語を「パートナーシップは」から「当会は」に変更しました。

役員改正：代表が加藤賢三氏から桑波田和子氏にバトンタッチされるなどの交代がありました。

桑波田和子新代表から新役員の紹介と、新代表としての挨拶がおこなわれました。続いて横山清美司会者が閉会を告げられて総会を終わりました。



参加者

第二部 交流会

総会が終わった後、総会出席者の大半が残り、各所属団体の状況報告や当会の課題や対策についての意見交換を行いました。(文責 牧内)

環境パートナーシップちば総会挨拶



千葉県環境生活部環境政策課 名川 哲哉 氏

昨年度は、環境学習ネットワーク会議において実施計画案策定に参画いただくとともに、地域教材作成事業や環境学習コーディネーター人材育成・活用検討事業などに取り組んでいただきました。

また、エコメッセ2009 in ちばの開催などに中心的な役割を果たされ、特にエコメッセでは、1万人以上の参加を得ることができました。

本年度も、地球温暖化防止の普及啓発活動をはじめ、環境学習の面で様々な主体との連携を県としても考えております。詳細は、今後つめてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

ゆるやかな連帯、だけれども持続可能な取組という、環境パートナーシップの基本コンセプトこそ、まさに今後の地球環境問題を解決するキーワードであると確信しております。

13年目を迎えられます環境パートナーシップちばの益々のご活躍を祈念し、私からのあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

千葉県環境政策課の名川と申します。

「環境パートナーシップちば」の総会にお招きいただきありがとうございます。本来であれば、当課の課長梅木が出席すべきところですが、僭越ながら本日は、私から代理で一言ご挨拶申し上げます。

環境パートナーシップちばの会員の皆様におかれましては、市民団体、企業、行政等、多様な主体をゆるやかにつなぎ、環境学習活動をはじめ、本県の環境行政の推進に御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

(財)千葉県環境財団業務管理グループ 山口 幸一 氏

ただいま、ご紹介に預かりました、千葉県環境財団の山口です。

今日は、総会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

また、今年で13年目を迎えて、益々のご発展をお喜び申し上げます。

環境パートナーシップちば様は、1997年の設立以来、環境財団に住所を置き、当財団とは、深い関係にございます。

毎年挨拶の際に申し上げていることですが、環境パートナーシップちば様は、ゆるくて、それでいて強いつながりで結びついた全国的に見ても大変珍しい団体でございます。

また、千葉市のエコ体験スクールの運営など日頃より大変お世話になっております。(今年度も6地区から4地区へと規模は縮小されましたがエコ体験スクールを行いますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。)

さて、手賀沼がワースト5からはずれて久しくなりますが、平成20年度の環境省発表では、印旛沼が手賀沼をぬいて千葉県ワースト1の湖沼となっております。



環境パートナーシップちば様におかれましては「印旛沼をきれいにする活動」など、印旛沼浄化のためにご活躍されており、今後益々、環境パートナーシップちば様や会員の皆様方の活動が重要となってきていると思います。

当財団では、今年度も環境学習や温暖化防止活動など多くの事業を展開していきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、環境パートナーシップちばの皆様のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、簡単ですがあいさつとさせていただきます。

ご挨拶

環境パートナーシップちば代表 加藤賢三

本日はお忙しいところ、平成22年度環境パートナーシップちばの総会にお集まりいただき誠にありがとうございます。今日は、お二人の来賓の方からご挨拶をいただきます。はじめに、千葉県環境生活部環境政策課温暖化対策推進室長の名川哲哉様、そして、千葉県環境財団業務管理室の山口幸一様です。どうぞよろしくお願ひいたします。

ご存知のように、当会は、平成9年6月末に発足しました。当時、自然保護やごみ問題、リサイクル事業から、まちづくりまでに取り組む県内45の環境団体の輪としてまとまりました。環境問題について、行政や企業、そして専門家との話し合いを行うとともに、会員相互の理解を深めて問題解決に向けた努力をすることが目標です。

今年は、創立14年目に入ります。平成15年から三代目の代表になり、丸7年になりますので、若い世代にバトンタッチの時期となりました。

21年度までの主な活動として、機関紙の発行とHPによる情報発信や千葉県においても最大の環境イベントとしてのエコメッセや各種シンポジウムへの参画と情報発信に努めてきました。また、環境問題について気さくに話し合いのできるエコサロンを2カ月に一度行っています。身近な水問題として、「印旛沼をきれいにする活動」は、その発展として、「印旛沼ウォーキングマップ」の作成や、「千葉市エコ体験スクール」の開催、そして、「水ハンドブック」の作成につながっています。

当会の不動の方向性は、環境保全のために、企業、行政、専門家とのゆるやかな協働を行うことです。具体的には、環境学習を中心とした取り組みで、環境コーディネーターの育成、人材の育成などを通じて、上記の各主体との輪を広げていくことではないでしょうか。

どうぞよろしくお願ひします

環境パートナーシップちば新代表 桑波田 和子

平成22年度から、環境パートナーシップちばの4代目の代表になりました、桑波田です。1代目鈴木優子さん、2代目横山清美さん、3代目加藤賢三さんは、当会の発展のために大活躍をされました。また、現在は当会以外でも、環境保全推進のために大活躍中です。そのような大先輩の後をお引き受けするには、まだまだ未熟者の私には荷が重いのですが、皆さまのご協力をたくさんいただきながら、歩いていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

私が環境活動を始めたきっかけは、メダカがいなくなったと気付いたこと、大原のホタルを見て感動したこと、また、近くにホタルの保全活動を、市民・行政・企業とのグラウンドワークで活動している団体に入会したことです。

その後、千葉市エコリーダー養成講座、千葉県エコマインド養成講座などを受講し、環境シンポジウム千葉会議などにかかわるようになりました。地域活動では、八千代市ほたるの里づくり実行委員会、NPO法人八千代オイコスで、生き物保全や河川の浄化の活動をしてきました。このような活動を通して、

市民団体・企業・行政とのパートナーシップを推進している「環境パートナーシップちば」に、平成15年入会しました。

入会後は、印旛沼の浄化の啓発活動、エコメッセ in ちば、環境場学習に関することなど当会の活動に関ってきました。昨年は、当会の事務局長として活動させていただき、当会の果たす役割を明確にし、広げていく必要を実感しました。まさに「～つながれ ひろがれ～」です。ただし、どのようにつなげ、広げるのかを、会員のニーズ、企業・行政のニーズをキャッチして、千葉県民の環境がよりよくなることのために、当会が担う役割を少しでもはたしていきたいと思ひます。

今年度からは、運営委員会開催の前の時間に、解決したい課題を持ちお互いに活動したい会員（以外も可）の交流の時間を設けました。どうぞお気軽にご参加ください。

新役員一同、会員の皆さまとご一緒に環境保全を推進し、持続可能な社会の実現のために行動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

～平成22年度事業計画～

活動方針

- ・個人会員へ向けた当会主催による活動
当会主催による環境保全及び環境教育の実践並びにアドバイザー活動
- ・団体会員へ向けたネットワーク活動
団体間のネットワーク強化に向け、団体間の交流及びパートナーシップ事業への参加
- ・情報の収集・提供・交換活動

1 情報活動

(1) 情報収集 (2) 情報提供・ホームページ (<http://kanpachiba.com/>)・「だより」発行(年6回)

(3) 情報交換 定例会 環境パートナーシップエコサロンなど開催

2 主体的活動

(1) 環境学習活動

- ・ 印旛沼に関する活動
- ・ 花見川わくわく歩き隊
- ・ 「エコウォーキング・マップ(東京湾から印旛沼)」作成(Love our bay 基金)他

(2) 環境パートナーシップ・エコサロン(開催予定)

開催時間：18：00～20：00 場所はだよりにて案内

平成22年	6月23日(水)	環境と福祉	8月9日(月)	資源循環
	10月4日(月)	生物多様性	12月13日(月)	地球温暖化防止
平成23年	2月14日(月)	環境学習	4月11日(月)	農業と食

(3) 環境学習コーディネーターネットワークの会(ELCoの会)の事務局

(4) 企業と連携した環境活動

(5) ESDフォーラム開催

(6) 各種シンポジウムの開催

(7) アドバイザー活動 ・行政の審議会及び委員会への参画。「千葉エコマインド指導者養成講座」及び「千葉市エコリーダー養成講座」等へ講師派遣 ・千葉市・船橋市・浦安市の市民活動センター登録

3 ネットワーク活動

以下のパートナーシップ事業への参加

- ・ 第7回里山フェスティバル“里山シンポジウム”
- ・ 第12回船橋市環境フェア
- ・ エコメッセ2010inちば
- ・ 川と沼ですてきな！体験を提案する全国大会inちば
- ・ エコフェアーいちばら
- ・ 第6回ちばし手づくり環境博覧会
- ・ 環境シンポジウム2010千葉会議

4 定例会

毎月1回、会員交流を兼ねて運営委員会の前に開催します。案内はだよりでお知らせします。

新役員紹介

代表 : 桑波田 和子
副代表 : (代表預かり)
事務局長 : 代表兼任
書記 : 若月 聡
会計 : 橋本 公江
会計 : (代表預かり)
事業部長 : 牧内 弘明
副部長 : 荒尾 繁志

広報部長 : 吉田 陸
副部長 : 平山 明彦
会計監査 : 大西 優子
会計監査 : 小関 光二
アドバイザー : 佐久間 隆義 鈴木 優子
横山 清美 大西 優子
深尾 秀次 高橋 晴雄
加藤 賢三

今年のエコメッセのテーマは エコメッセでくらしを変えよう～生物多様性と地球温暖化～

今年も「エコメッセ2010inちば」が、標記のテーマのもとで以下のとおり開催され、現在、出展団体や協賛団体を募集しています。なお、募集の締切りは6月30日です。

開催日時：9月5日（日）10：00～17：00

**場 所：幕張メッセ国際会議場他
（千葉市美浜区中瀬2-1）**

詳しい案内は、下記の実行委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.ecomesse.com/>

環境パートナーシップちばの団体会員の皆様に、ぜひ出展や協賛にご協力賜わりたくお願い申し上げます。また、「エコメッセ2010inちば」を、お知り合いの団体様などにもご紹介いただき、出展を勧誘していただきたくお願い申し上げます。

エコメッセは「環境活動の見本市」として、1996年に開始されて以来毎年実施され、現在、来場者が10,000人を超える大きなイベントに成長しています。

この「環境活動の見本市」では、昨年度は98団体からの出展をいただき、環境保全活動の紹介、環境に配慮した商品の展示・販売、パートナーシップの全国発信、環境教育・環境学習などがにぎやかに行われました。

このイベント開催のために、毎年、市民、企業、行政、学校のパートナーシップによる実行委員会が組織され、今年度は60名弱の委員による運営を行っています。

今年も、多くのかたのご来場をお待ちしております！



昨年の会場風景
（エコメッセ2010inちば 実行委員 牧内記）

ELCoの会設立総会報告

平成22年3月31日付だより72号で、平成21年度環境学習コーディネーター人材育成・活用検討事業報告会（3月12日）後に今回のワークショップに参加したメンバーで、ELCo（Environmental Learning Coordinator）の会（環境学習コーディネーターネットワークの会）の設立を確認しましたことをご報告しました。この結果を踏まえて「ELCoの会」設立総会が5月20日（木）午後6時から千葉市市民活動センター会議室において開催されましたので、ご報告をいたします。

審議事項は、(1) 設立の趣旨 (2) 規約（案） (3) 役員選出及び体制について (4) 平成22年度事業計画 (5) 平成22年度予算計画 (6) 今後について (7) その他。

事前にたたき台として準備された規約（案）を検討しました結果、目的を「千葉県の環境学習をよりよく推進するために、環境学習コーディネーターの育成と活用を図る。」とし、会員を「ワークショップのメンバーと今後開催される講座修了生等」としま

した。役員には、代表市野敬介氏、副代表に横山清美氏、書記に井上健治氏、会計に大西優子氏、監事に土田茂通氏が選出されました。

平成22年度事業計画については、「環境学習コーディネーター育成講座実証実験」を共催として実施することと、本会の概念を作り上げていくのが今年度の主な活動となるため、協議会の設立やシステムの立ち上げ等、活動項目ごとに具体的なスケジュールを決めていく必要があるということが共有され、予算の検討の後に早速今後の事業について全員参加の運営委員会で検討していく会議日程も6月に決めました。

その他の項目では、21年度事業をふまえての県への提言書についても意見交換があり、事業を担当した三団体で意見を参考に成文化することで散会としました。

今後環境パートナーシップちばは、「ELCoの会」の自立を支えていくこととなります。

（文責：横山）

第7回里山シンポジウム 開催報告

テーマ：「里山と都市」～まちづくりと生物多様性の保全～

日 時：5月16日(日) 10:00～17:00 場所：和洋女子大学

開催日は、木々の美しい緑とさわやかなお天気に恵まれ、約220名が市川市内にある和洋女子大学に集まりました。

シンポジウムは、座談会、分科会報告、ミニ講演、総合討論で構成され、途中にミュージカルや歌が入り約6時間の開催時間が短く感じられました。座談会のテーマは、都市の緑をいかに守るかについて、松戸市内にある「関さんの森」の関 美智子さん、関さんの森エコミュージアムの山田純稔さんと、コーディネーターの佐野郷美さん（市川みどりの市民フォーラム）とのやり取りで行われました。関さんの森を育む会は当会の団体会員で、以前「だより60号」でも活動を書いていたことがありましたが、関さんの森を守るための長年の活動と支援する側の活動を詳細にお聞きすることができ、大いに参考になりました。また、東葛合唱団「はるかぜさん」による、「関さんの森ミュージカル」を聞き、シンポジウム会場が緑の森にいるような気持ちになり、感動しました。

ミニ講演は、緑のみずがき隊の岩田氏から、水と緑の回廊構想と市民提案制度、(株)野田自然共生ファームの野田市内での取り組み、東葛自然と文化研究所の新保氏から「流山市の生物多様性市戦略」、江戸川の自然環境を考える会の田中氏、千葉の干潟を守る会の竹川氏の三番瀬の話など、東葛近隣の活動や課題・現状を知ることができました。ミニ講演の間にも、「ちばぞうれっしゃ合唱団」による、里山にかかわる歌を聴き一緒に歌いました。

総合討論は、講演者へ会場からの質問でした。最後は行徳野鳥観察舎友の会による、チゴガ二音頭が披露され、会場も一緒に歌と踊りを覚えました。

今回のシンポジウムでは、里山を守り育むために、行政、市民のできることは何か？について考える良い機会となりました。里山シンポジウムは、分科会を今後各地で開催します。

どうぞ、ご参加ください。開催日などは、<http://www.satochiba.jp/>をご覧ください。

(実行委員 桑波田 和子)

やちよ里山シンポジウム2010の報告

やちよ里山シンポジウム2010は、～めぐみ豊かな里山保全に向けて～のサブタイトルで、3月6日(土)午後1時半～4時、八千代市緑が丘公民館集会ホールで以下のような内容で行われた。

基調講演

里山と生物多様性 長谷川 雅美

(東邦大学 理学部教授)

八千代市の里山紹介 桑波田 和子

(八千代市ほたるの里づくり実行委員会)

八千代市 谷津・里山保全計画 高橋 和也

(八千代市環境保全課環境政策室)

船橋での里山活動紹介 中嶋 守男

(NPO 法人こびすくらぶ代表)

本シンポジウムは、めぐみ豊かな谷津・里山を、現実にはどのように保全して行けばよいのかを課題としたものである。

基調講演では、サブタイトルでうたわれている、めぐみ豊かな谷津・里山の保全のための理論的な話から実践的な話まで、長谷川さんの豊富な経験が語られた。具体的には、10年前千葉県中央博物館でカエルの現状を知ってもらうための特別展を行った。それがきっかけで、カエルの保全のた

めには、カエルの気持ちになって水田管理をする必要性を感じた。カエルが安心して卵を産んでもらえるようにしたいと思い、平成17年、千葉市大草の谷津田を生き物の里にしたいという視点で、荒れた谷津を、市民団体、千葉市、地権者との連携の下に谷津・里山の再生を行った。まさに先駆的事例が語られた。

八千代市の事例発表では、桑波田さんから、市内の谷津・里山の現状紹介とその大切さと八千代市ほたるの里づくり実行委員会の活動紹介があった。市環境政策室の高橋さんからは、都市化が進んでいる八千代市において、現在行われている谷津・里山保全計画の進行状況などが紹介された。

こびすくらぶ(<http://coppice.main.jp/>)代表中嶋さんからの里山活動紹介では、船橋市の森林所有者46名が森林施業計画を策定して、年間3万円/haの受託金で森林の整備を行い、平成17年から21年までの5年間で57haを整備したことが語られた。「森づくりは市民団体の手で」というキャッチコピーとNPOと森林所有者と船橋市との連携・協働が印象に残った。

(文責：広報部)

お 知 ら せ

《6月は環境月間です》

第6回ちばし手づくり環境博覧会

テーマ：みんなで体感！エコラリー

日時：6月5日～11日

場所：きぼーる アトリウム

主催：ちばし手づくり環境博覧会実行委員会

問い合わせ：千葉市環境調整課

Tel：043-245-5199

Fax：043-245-5553

エコフェアいちほら

テーマ：次世代へつなごう！

人にも生き物にもやさしい街 いちほら

日時：6月5日（土）10：00～15：00

場所：市原市民会館

主催：エコフェアいちほら実行委員会

問い合わせ：市原市環境部環境管理課

Tel：0436-23-9867

Fax：0436-24-1204

浦安市環境フェア

『いつも隣にあるECO！！』

～気づきから行動へ 行動は継続へ～

日時：6月19日（土）10：00～16：00

会場と内容：

- ・新浦安駅前広場（屋外テントブース）
- ・市民プラザ Wave101（市民ギャラリー）
- 「市民団体・企業の環境保全活動展示発表」
- ・ショッピングプラザ新浦安1階イベント広場

講演：「もったいないを身近なことからはじめよ！」

「ふるしきの魅力をもっと知ってほしい！」

主催：浦安市

第2回 流山市 市民環境講座

テーマ：新しいエコライフと明日のまちづくり

日時：6月12日（土）13：30～16：00

会場：江戸川大学 サテライトセンター

講演：・極寒での暮らしから地球環境を見つめて

講師 中山 由美（朝日新聞記者）

・流山の熱環境調査と低炭素まちづくり

講師 伊藤 勝（江戸川大学教授）

・ながれながれ20⇒20プランの取組み

講師 宇仁菅 伸介（流山市環境部長）

定員：一般 100名（申込み先着順）

申込・問合せ先：流山市環境政策課市民環境講座係

電話かFAXで申込みください。

第13回ふなばし環境フェア

テーマ：みつけよう！あなたができるエコ活動

日時：6月5日（土）10：00～16：00

会場：船橋市中央公民館

入場：無料

主催：船橋市環境フェア実行委員会

『いちかわ環境フェア2010』

日時：6月26日（土）

10：00～15：30（荒天中止）

場所：千葉県立現代産業科学館ほか

詳細：下記のURLをご覧ください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/env01/1111000012.html>

香取市環境フォーラム2010

と き 7月4日（日）13:00～16:00

ところ 佐原中央公民館 3階大会議室

《プログラム》

第一部

《基調講演》13:10～14:30

◇テーマ：川は生きている

（川とのつきあい方をみんなで考えよう）

◇講師：藤田光一氏

（国土技術政策総合研究所 流域研究官）

第二部

《活動報告》14:40～16:00

自然環境保護や環境ボランティア活動

○田んぼの生き物調査（大戸在住 鈴木正慶氏）

○残したいね かとのり自然

（小見川在住 水越正彦氏）

運営委員会報告

4月運営委員会

日時：平成22年4月12日（月）
 平成22年4月26日（月）
 場所：船橋市民活動センター
 報告：①「だより」72号発送について
 ②会員の退会について
 協議：①総会開催準備
 ②「だより」73号について
 協議：①だより73号について
 ②平成22年度の方針について
 ③総会準備について（主として4月26日）

5月運営委員会

日時：平成22年5月10日（月）
 場所：船橋市民活動センター
 報告：総会参加回答について
 協議：①だより73号について
 ②ホームページについて
 ③6月エコサロンについて
 ④6月環境月間について
 ⑤積橋公民科講座について
 ⑥エコメッセ2010 in ちばについて
 ⑦運営委員会定例会について
 ⑧その他

第43回環境パートナーシップエコサロン

テーマ：森林と河川のいやし効果
 -環境と福祉-

日時：6月23日（水）18:30～

会場：千葉市民活動サポートセンター大会議室

話題提供者：菅谷 茂 氏 千葉大学大学院医学研究院環境影響生化学教室助教

内容：森林のいやし効果と河川のいやし効果を、科学的に解明することなどについて
 話題を提供していただきます。その後は参加者との意見交換を行います。

参加費：500円（資料代）

申し込み：事前にお申し込みください（当日参加も可能です）

E-mail: kuwahatak@hotmail.com 桑波田

FAX: 043-258-5437

- ◆ 会計より
 平成22年度会費納入のお願い
 今年度会費の振込票をだよりに同封しますので、未納の方は納入願います。
- ◆ 広報部より
 1. 皆様の活動やお知らせなどの原稿をお寄せください。
 2. ホームページに団体のリンクや連絡先としてメールアドレス等の記載をご希望の方はご連絡ください。
 HP: <http://kanpachiba.com> E-mail: info@kanpachiba.com

再生紙使用

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政及び専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。

入会申込先：千葉県環境財団 業務部
 環境活動支援チーム気付
 TEL: 043-246-2180 FAX 043-246-6969
 会費納入先：環境パートナーシップちば
 郵便振替口座 00160-9-401872 千葉県環境財団
 環境技術部 業務管理チーム気付

＜環境パートナーシップちば＞
 入会申込書
 会の趣旨に賛同し（個人、団体、賛助会員として）
 会費を添えて（郵便振替）入会します

氏名		入会年月日	
住所	〒		
TEL		FAX	
年会費	個人1,000円 団体2,000円 賛助会員5,000円		